

日時 令和7年10月17日
14時20分～

令和7年度 大阪府立日根野高等学校第2回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦
記録 教諭 谷上 颯亮

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）5名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学校長	西田 好江 様
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様（遅刻）
泉佐野市立日根野中学校	校長	古谷 秋雄 様
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	師 啓介 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	梅津 二三代 様（欠席）
大阪府立日根野高等学校	PTA 会長	水上 寿香 様

2) 事務局員（出席者）10名

校長	山本 好男
教頭	川瀬 治彦
事務長	大庭 毅
首席	栗原 重彦
首席	矢萩 友之
教諭（教務部長）	大土 渡
教諭（生徒指導部長）	木藤 耕平
教諭（保健総務部長）	山口 清美
教諭（進路指導部長）	小池 洋介
教諭	谷上 颯亮

1) 授業観察（14:20～15:00）

2) 本校37期の現在の進路状況について（15:10～16:00）

- ・就職 民間1名（JR西日本）南海・メトロなどの求人も...高卒就職もありか
- ・公務員 18名一次通過
- ・指定校 56名（ほぼ例年通り）
- ・総合型 専門はほぼ内定・合格（110名ほど）
- ・国公立5名、関関同立3名受験予定
- ・共通テスト申込み方法変更、推薦の形にも変化
- ・昨年の近大合格者は共通テスト利用受験者が多い⇒産近甲龍も変わっていく可能性ありか
⇒本校にとってかなり大きいポイント
- ・総合型選抜の試験は面接及びプレゼン
⇒勉強したくないからという消極的な理由が目立つようになっている

3) 分掌長から報告

① 教務部より（教科書選定）

教科書選定について⇒採択⇒再度確認⇒問題なし

② 生徒指導部より

③ 保健総務部より

年間健康診断関係順調

インフルエンザによる学級閉鎖⇒本校では目立ってはいないが少しずつ

<委員>日根野中学校でも各クラス2人程度

<回答>佐野工科は学級閉鎖あり

今回の症状は喉痛等のためわかりにくいこともあり注意の必要あり

4) 質疑応答・意見交換

<委員>50分座ってられない。90分なら仕方ないのか。

医療のプロだが、教えるプロではないので生徒との齟齬あり

⇒どう解決するか

<委員>受験指導について...最後までお願いしたい

<委員>工夫がみられる、アンケート結果からもわかる

集中力が持続しないことに関して

⇒一般企業では会議が多い、集中力を高めなければいけない

<委員>自分で考えて行動できる子ども像

⇒工夫が見える、文章等からイメージを広げられる子どもを育てるために

<委員>保育学科専門コースが減った。保育士の高齢化

できるだけ保育園との連携を。職員配置の議題にも上がっている

関西医療...水筒をみておきなさい⇒みるだけ(指示待ち)

クラブ活動などを頑張る主体的に積極的に動ける生徒がほしい

↓

<回答>保育の授業は残っている。今後もそのような授業を履修する生徒はいる

学生も免許を持っているが現場にはといった問題、深刻な人材不足

<委員>配慮の必要な幼児もいる

教員の減少が深刻

5) その他

<校長>進路希望調査の結果から、そこまで悲観していくようなものではない

<委員>ネームバリュー重視の子もいるか・・・進路希望調査2回へ

<校長>最南端の公立として残していく努力をしなければいけない

<委員>トイレを少しきれいにする(清潔さのアピール)を前面に

⇒証明を明るくする。芳香剤を置く、観葉植物なども置いてみては

<校長>きれいな方、ほぼ洋式化、生徒には影響なし、華道部に生けてもらうか

<校長>アピールはしているが...

<委員>中学校のトイレはほぼ乾式になっている

<校長>乾式を標準にした生徒が増えてくるであろう

<委員>トイレが学校選びの基準になっているような生徒もいるのではないか

<校長>授業アンケートについて好意的な回答が多い、他の高校と比べても多い方
クラブ加入率も増えている
教員の時間外在校時間が少し増えているか...取り組んでいくべき事項
遅刻は確実に減ってきている⇒生徒指導部の取り組み（遅刻ゼロの日の設定）

3. 連絡事項

○ 今後の日程

第3回学校運営協議会 令和8年1月16日（金） 15:45～